

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体の取組について

部局等名（ 発生医学研究所 ）

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、独自の研究支援事業を行っており、『育児・介護期間中の研究支援』事業においては対象者を大学院生にまで拡大し、育児・介護と就学を両立できる環境の整備に取り組んでいる。令和3年度公募においては、大学院生1名に助成を行った。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、2008年7月29日に男女共同参画推進に係る事業実施に関する申し合わせを定めて、工夫及び改善を重ねながら、「男女共同参画推進事業」を継続して行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染による休校等の影響を考慮し、前年度と同様に支援対象者を“小学生以下の子の育児期間中”まで拡大して公募を実施し、教職員5名に対して助成を行った。・ 発生医学研究所HPにおいて、上記の「男女共同参画推進事業」の公募・採択情報のほか、女性教職員の割合（統計データ）及び授乳室等設備の最新情報を掲載している(http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/danjo/)。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、毎年八代中学からの研究所見学を受け入れているが、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出前講義の形式をとった。2021年6月18日（金）に県立八代中学校にて実施し、本研究所教員（2名）による講義を行った。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、令和2年度から、所員の方々の心身の健康向上を目指して『発生研なんでも相談窓口』を設置している。所員であれば職種、勤務形態を問わず相談でき、大学院生や学部生もすべて対象としている。さらに、そのご家族からも相談できるようになっている。また、外部機関に委託しているため、有資格者に相談することが可能であり、秘密厳守で匿名も可能とした。相談内容は研究・仕事関係、人間関係、家族のことなど、何でも相談できる。さらに、所内には外国籍の方も多いため、令和3年度から英語での相談ができるように委託先に相談し、実現することができた。（詳細は別紙に掲載）
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、管理職から若い世代まで、職位を問わず全員が倫理教育を定期的に受けることが必要と考え、これまでも、「研究費不正防止講習会」や「セクシュアル・ハラスメント防止のための特別講演会」を実施している。令和3年度は、2021年6月25日（金）に外部講師をお招きし、「パワーハラスメント防止のための特別講習会」を実施した。（詳細は別紙に掲載）

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。